



兼松株式会社

2025年3月期 通期 決算補足説明資料

(見通しに関する注意事項)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは、様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがありますので、本情報や資料の利用については、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行ってくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。なお、表示の数値は、億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。

2025年3月期通期 決算概況

- 中期経営計画「integration 1.0」初年度にあたる2025年3月期の親会社の所有者に帰属する当期利益は275億円となり、過去最高益を更新
- 2026年3月期の当期利益は25億円増益の300億円の見通し

2025年3月期 通期実績

(単位：億円)	24/3月期 通期実績	25/3月期 通期実績	前年 同期比	増減率
収益	9,860	10,509	+649	+7%
営業活動に係る利益	439	421	△18	△4%
親会社所有者帰属当期利益	232	275	+43	+18%
(調整後) 営業キャッシュ・フロー ¹⁾	332	406	+74	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△124	14	+138	
	24/3月末	25/3月末	前期比	
ネットDER ²⁾	1.00倍	0.69倍	△0.31倍	
自己資本比率 ³⁾	22.0%	25.2%	+3.3%	

2026年3月期 通期見通し

(単位：億円)	25/3月期 通期実績	26/3月期 通期見通し	前年 同期比
収益	10,509	11,000	+491
営業活動に係る利益	421	500	+79
親会社所有者帰属当期利益	275	300	+25
一株当たり年間配当金	105円	115円	+10円
連結配当性向	31.9%	32.0%	

1) (調整後) 営業キャッシュ・フロー = 会計上の営業キャッシュ・フロー ± 運転資本増減 - リース負債の返済

2) ネットDER = ネット有利子負債 ÷ 自己資本 (親会社の所有者に帰属する持分合計)

3) 自己資本比率 = 自己資本 ÷ 総資産

損益の状況

2025年3月期 通期 実績

(単位：億円)	24/3月期 通期実績	25/3月期 通期実績	前年 同期比	増減率
収益	9,860	10,509	+649	+7%
売上総利益	1,426	1,550	+124	+9%
販売費及び一般管理費	△1,062	△1,151	△90	-
その他の収益・費用	75	22	△53	△71%
営業活動に係る利益	439	421	△18	△4%
利息収支	△50	△49	+1	-
受取配当金	13	12	△1	△6%
その他の金融収益・費用	△4	△2	+2	-
金融収益・費用	△41	△39	+2	-
持分法による 投資損益・減損損失	△26	1	+26	-
税引前利益	372	382	+10	+3%
法人所得税費用	△127	△118	+9	-
当期利益	246	264	+19	+8%
親会社所有者帰属 当期利益	232	275	+43	+18%

■ 収益

電子・デバイスセグメントや車両・航空セグメントを中心に、649億円の増収

■ 営業活動に係る利益

売上総利益は増加したものの、のれんの減損などにより、18億円の減益

■ 税引前利益

持分法による投資の減損損失を計上した前期比で10億円の増益

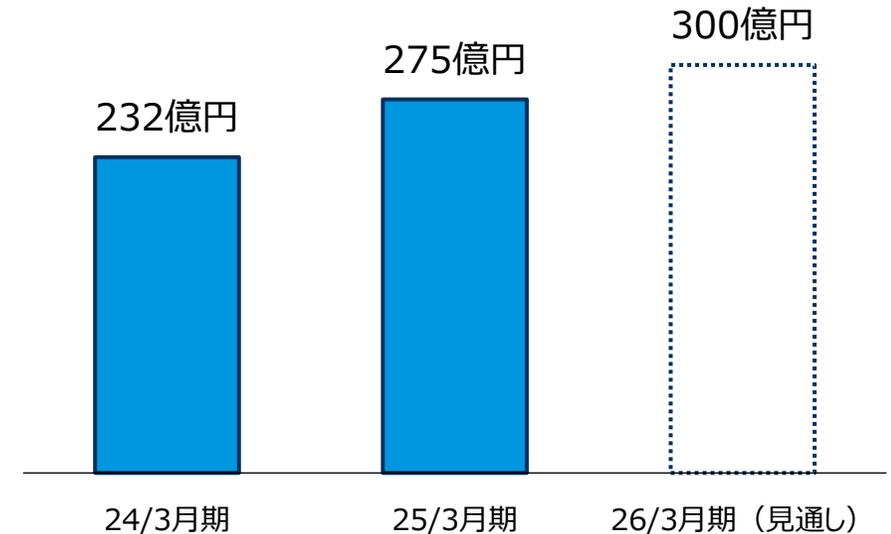
■ 親会社所有者帰属当期利益

過去最高益となる275億円
4ページ「セグメント別当期利益」参照

2026年3月期 見通し

(単位：億円)	25/3月期 通期実績	26/3月期 通期見通し	前年 同期比
収益	10,509	11,000	+491
営業活動に係る利益	421	500	+79
税引前利益	382	460	+78
親会社所有者帰属当期利益	275	300	+25

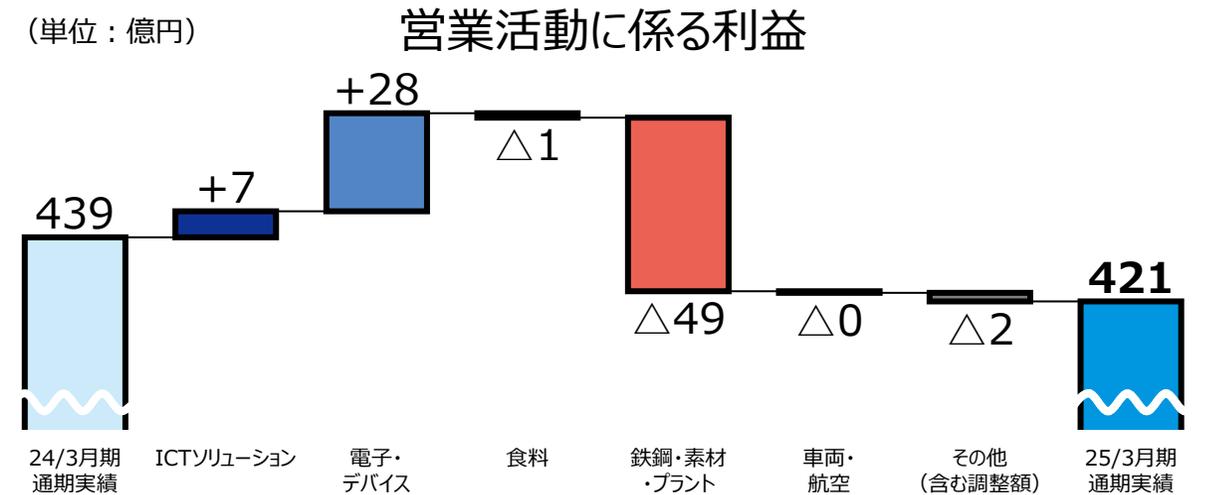
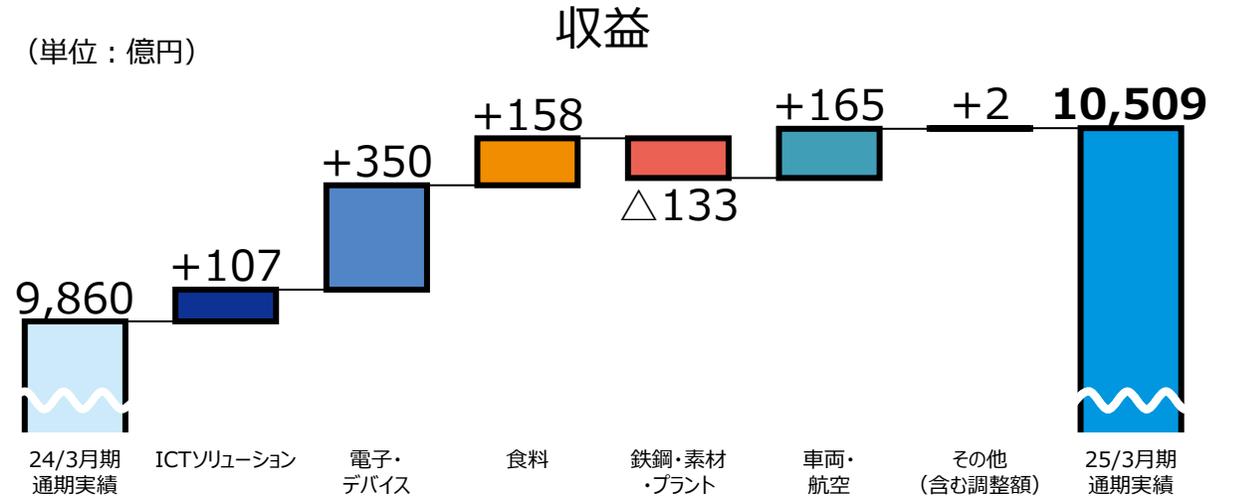
親会社所有者帰属当期利益



セグメント情報

(単位：億円)	24/3月期 通期実績	25/3月期 通期実績	前年 同期比	増減率	26/3月期 通期見通し	前年 同期比
ICTソリューション						
収益	888	995	+107	+12%	1,050	+55
営業活動に係る利益	139	147	+7	+5%	150	+3
親会社所有者帰属当期利益	93	100	+6	+7%	105	+5
電子・デバイス						
収益	2,364	2,714	+350	+15%	2,750	+36
営業活動に係る利益	86	114	+28	+32%	137	+23
親会社所有者帰属当期利益	53	70	+17	+32%	89	+19
食料						
収益	3,417	3,575	+158	+5%	3,850	+275
営業活動に係る利益	80	78	△1	△2%	81	+3
親会社所有者帰属当期利益	35	31	△4	△12%	35	+4
鉄鋼・素材・プラント						
収益	2,117	1,984	△133	△6%	2,000	+16
営業活動に係る利益	85	35	△49	△58%	75	+40
親会社所有者帰属当期利益	19	40	+21	+108%	38	△2
車両・航空						
収益	1,054	1,219	+165	+16%	1,300	+81
営業活動に係る利益	49	48	△0	△1%	58	+10
親会社所有者帰属当期利益	30	32	+2	+8%	34	+2
その他（含む調整額）						
収益	20	22	+2	+11%	50	+28
営業活動に係る利益	1	△2	△2	-	△1	+1
親会社所有者帰属当期利益	2	2	△0	△1%	△1	△3
合計						
収益	9,860	10,509	+649	+7%	11,000	+491
営業活動に係る利益	439	421	△18	△4%	500	+79
親会社所有者帰属当期利益	232	275	+43	+18%	300	+25

※ 2024年3月期通期実績は、旧セグメントの数値を監査後の現行セグメントに組み替えております。

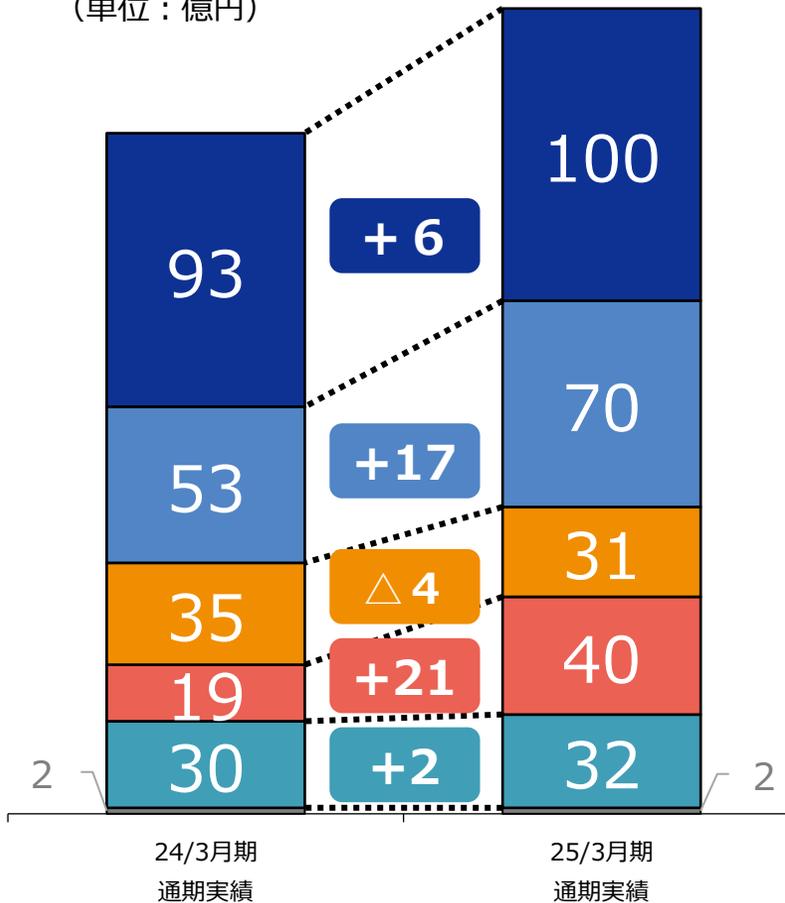


セグメント別当期利益

親会社所有者帰属当期利益

■ ICTソリューション ■ 電子・デバイス ■ 食料
■ 鉄鋼・素材・プラント ■ 車両・航空 ■ その他（含む調整額）

（単位：億円）



※ 2024年3月期通期実績は、旧セグメントの数値を監査後の現行セグメントに組み替えております。

ICTソリューション

6億円増益

- 人件費、オフィスリニューアル費用などの経費が増加した一方、セキュリティ関連の案件や、製造業を中心としたネットワークやストレージ関連の案件が順調に推移したことにより増益

電子・デバイス

17億円増益

- モバイル事業**：直営店舗の増加や販路拡大の効果、販売台数増加に加え、法人向け事業の伸長もあり、店舗再編などにかかるコストが先行した前期比で増益
- 半導体部品・製造装置事業**：半導体部品は好調な前期比で減速、半導体装置は半導体市況の回復の遅れに伴い苦戦したものの、M&Aによる効果もあり増益
- 電子機器・電子材料事業**：のれんの減損損失を計上したことにより減益

食料

4億円減益

- 食糧事業**：大豆などが堅調に推移し、ほぼ横ばいで推移
- 食品事業**：リテール向け取引や飲料原料の販売などが堅調に推移し、ほぼ横ばいで推移
- 畜産事業**：海外市況高や円安によるコスト高、国内市況低迷の影響などにより販売が苦戦し減益

鉄鋼・素材・プラント

21億円増益

- 鉄鋼・鋼管事業**：北米鋼管取引が減速した一方、前期に計上した持分法による投資の減損損失がなくなったことで増益
- プラント事業**：ODA案件の取引が好調に推移し増益
- エネルギー事業**：需要の低迷により、好調に推移した前期比で減益

車両・航空

2億円増益

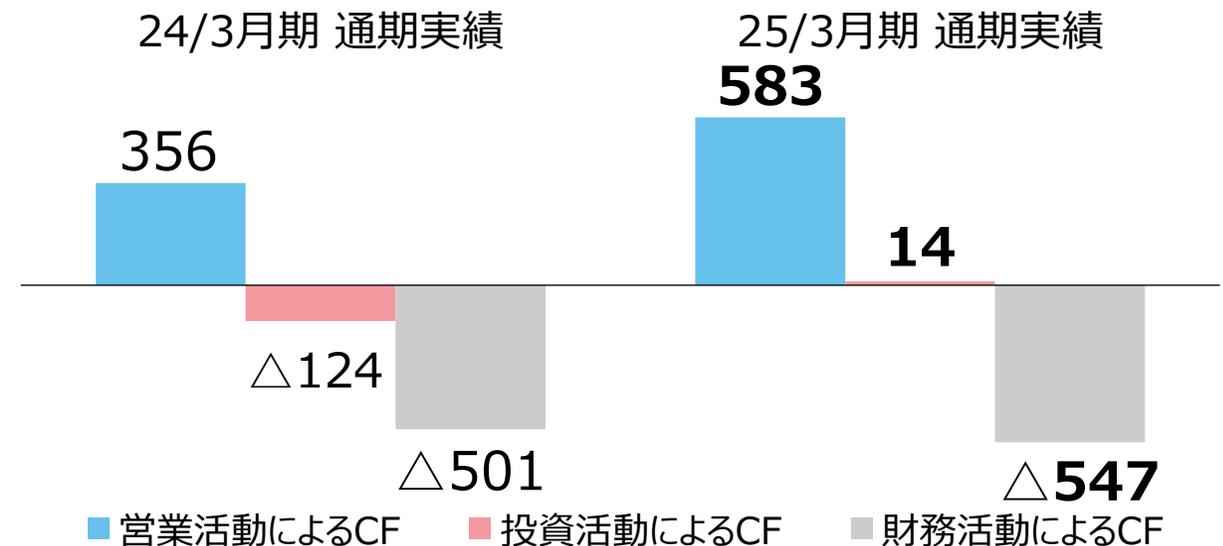
- 航空宇宙事業**：航空機・防衛関連の取引が好調に推移し増益

キャッシュ・フロー

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
営業収入の積上げなどにより、**583億円のキャッシュ・イン**
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
有形固定資産の取得や子会社の取得等の事業投資の実行などによる支出があった一方で、政策保有株式（その他の投資）の売却などにより、**14億円のキャッシュ・イン**
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
借入金およびリース負債の返済や配当金の支払いなどにより、**547億円のキャッシュ・アウト**

(単位：億円)	24/3月期 通期実績	25/3月期 通期実績	前年 同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	356	583	+227
投資活動によるキャッシュ・フロー	△124	14	+138
フリーキャッシュ・フロー	232	597	+365
財務活動によるキャッシュ・フロー	△501	△547	△46
(調整後) 営業キャッシュ・フロー ¹⁾	332	406	+74

1) (調整後) 営業キャッシュ・フロー = 会計上の営業キャッシュ・フロー ± 運転資本増減 - リース負債の返済



財政状態

■ 総資産

売掛債権の回収など営業債権の減少や政策保有株式の売却等により、**360億円の減少**

■ ネット有利子負債

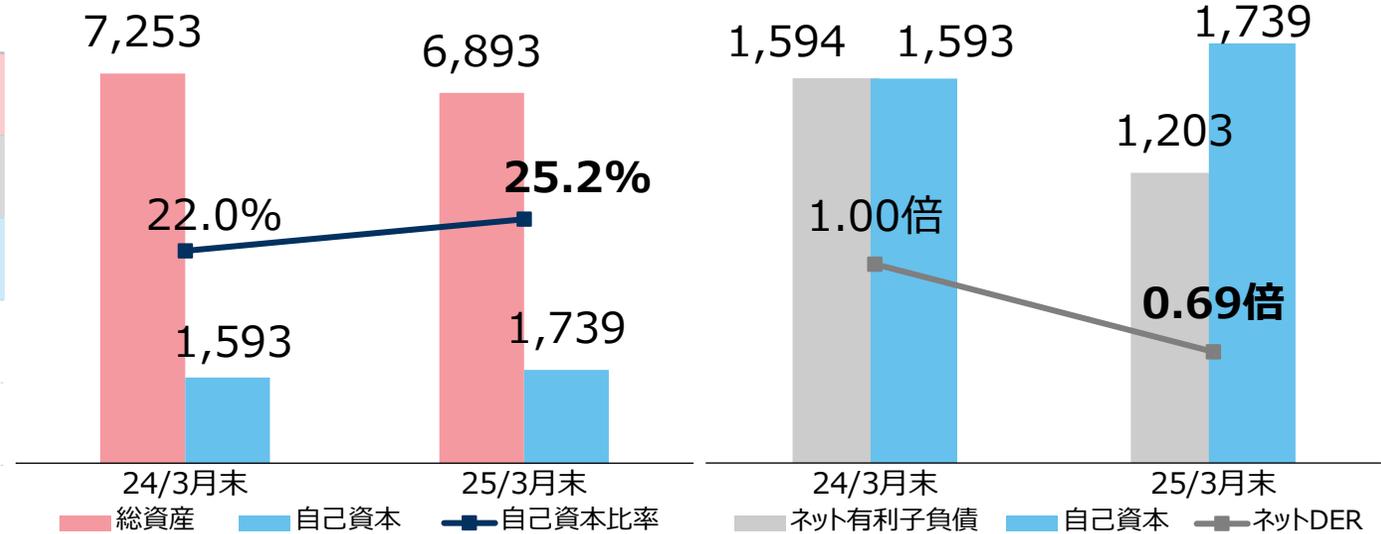
運転資本の減少や政策保有株式の売却に伴う借入金の返済などにより、**391億円の減少**

■ 自己資本

親会社の所有者に帰属する当期利益の積上げなどにより、**146億円の増加**

自己資本比率は**25.2%**、ネットDERは**0.69倍**

(単位：億円)	24/3月末	25/3月末	増減
総資産	7,253	6,893	△360
ネット有利子負債	1,594	1,203	△391
自己資本 ¹⁾	1,593	1,739	+146
自己資本比率 ²⁾	22.0%	25.2%	+3.3%
ネットDER ³⁾	1.00倍	0.69倍	△0.31倍
PBR ⁴⁾	1.37倍	1.22倍	△0.15倍



1) 自己資本は資本の「親会社の所有者に帰属する持分」

3) ネットDER = ネット有利子負債 ÷ 自己資本

2) 自己資本比率 = 自己資本 ÷ 総資産

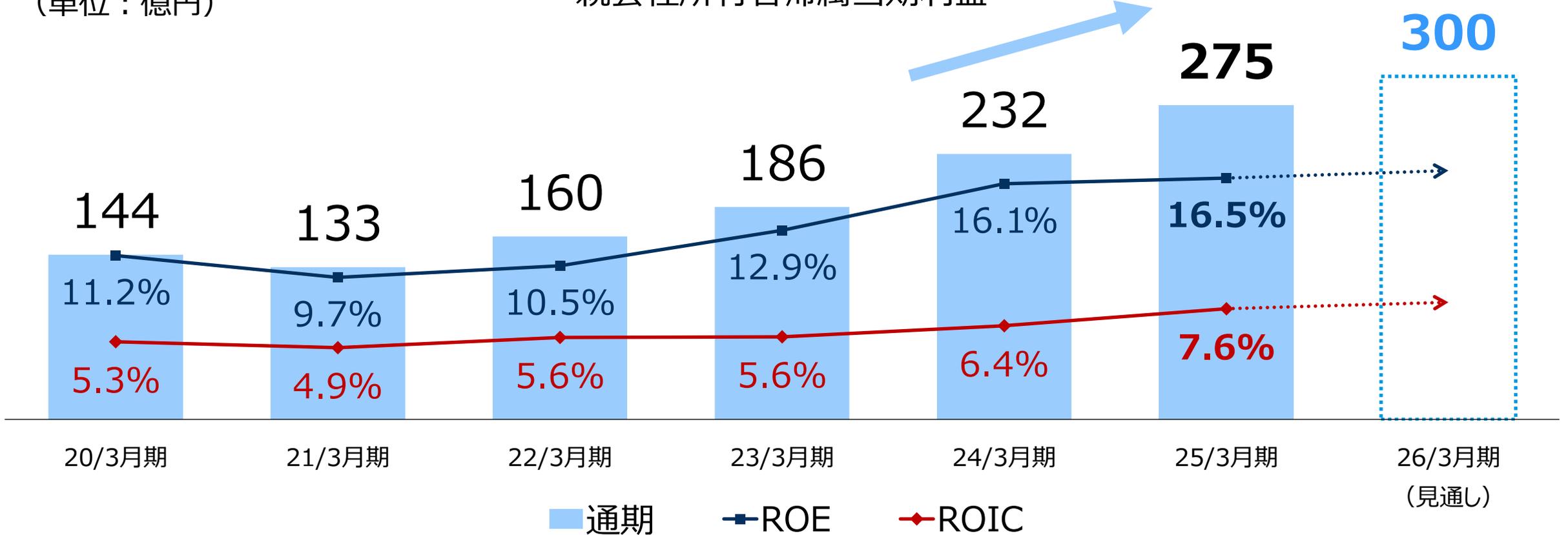
4) PBR = 期末時点の時価総額 (期末株価 × 発行済み株式数) ÷ 自己資本

親会社所有者帰属当期利益の推移

- 2025年3月期通期の当期利益は、前期比43億円増益の**275億円**
- 2026年3月期の当期利益は25億円増益の**300億円の見通し**

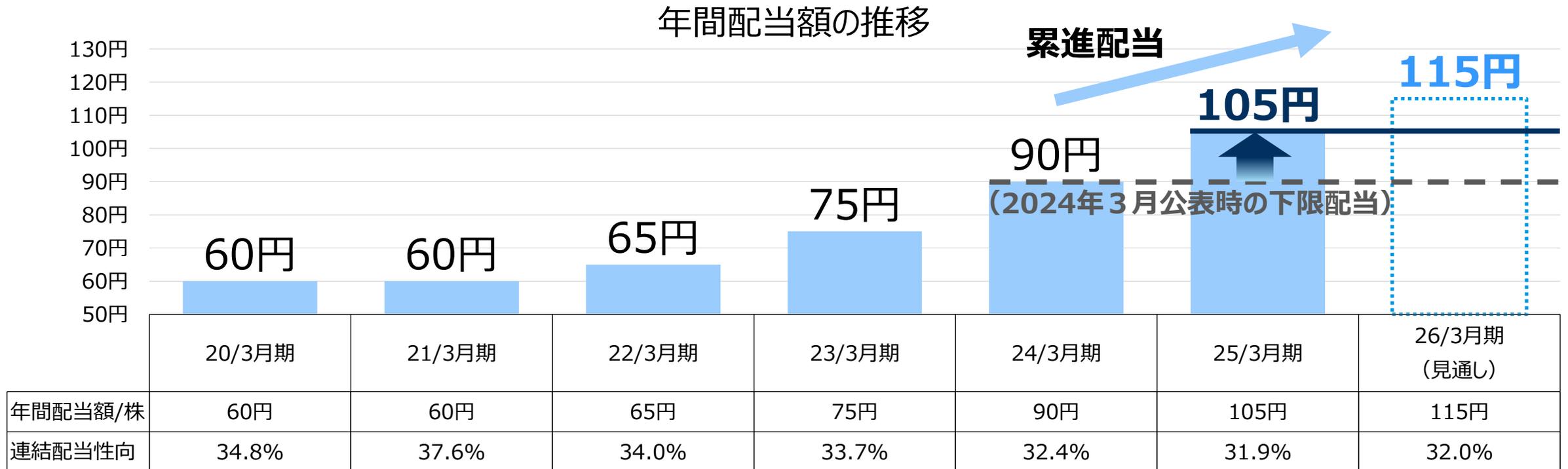
(単位：億円)

親会社所有者帰属当期利益



株主還元

- 2025年3月期の1株当たり年間配当金は**105円**
- 2026年3月期の配当金の下限を当初の90円から**105円（前期比+15円）**に引き上げ
- 累進配当を実施し、2026年3月期の配当金は10円増配の**115円**を予定
- **総還元性向は30～35%**を目標とし、当期利益の成長に応じて配当金を引き上げる方針





兼松株式会社